

103 番の歌 牧者という贈り物

長老として奉仕することを目標にできますか

「監督になろうと努めている人は、立派な仕事を望んでいます」。 [テモテ第一 3:1](#)

ポイント：聖書によると、兄弟たちが長老として奉仕するためにはどんな資格を満たす必要があるのでしょうか。

1-2. 長老はどんな「立派な仕事」をしていますか。

援助奉仕者として奉仕しているなら、長老になるために必要な資質を磨いてきたことでしょう。では、長老という「立派な仕事」を行うことを目標にできますか。 ([テモ一 3:1](#) 次の言葉は真実です。監督になろうと努めている人は、立派な仕事を望んでいます。)

2 長老の仕事にはどんなことが含まれているのでしょうか。率先して宣教を行い、牧羊や教えることに一生懸命取り組み、言葉や行いで会衆を元気づけます。このように頑張っている長老たちは、聖書にある通り「人々という贈り物」です。 ([エフェ 4:8](#) こう述べられています。「その方は高い所に昇った時、捕虜を連れ去り、人々という贈り物を与えました」。)

3. 長老として奉仕するためにはどうする必要がありますか。 ([テモテ第一 3:1-7](#)。 [テトス 1:5-9](#))

3 どうすれば長老として奉仕できるでしょうか。長老としての資格は、仕事に就くための資格とは違います。大抵、世の中では、求人募集されている仕事のスキルを持っているなら仕事に就くことができます。でも長老になるためには、伝道や教えるスキルを持っているだけでは不十分です。 [テモテ第一 3 章 1-7 節](#) 次の言葉は真実です。監督になろうと努めている人は、立派な仕事を望んでいます。2 ですから、監督は、とがめられるところがなく、1 人の妻の夫で、節度をわきまえ、健全な考え方(*良い判断)をし、秩序正しく行動し、人をよくもてなし、教える資格がなければなりません。3 また、酪酊せず、暴力を振るわず、分別があり、争いを好まず、お金を愛さず、4 家庭を立派に治め(*管理し)、子供をよくしつけて従わせているべきです。5 (自分の家庭を治められないのであれば、神の会衆(*)を世話することなどできるのでしょうか。) 6 クリスマンになって間もない人であってはなりません。思い上がって、悪魔と同じように断罪されるようなことにならないためです。7 さらに、会衆外の人からも良い評判を得ているべきです。人々から非難され、悪魔のわなに陥る、ということがないようにするためです。と [テトス 1 章 5-9 節](#) 私があなたをクレタに残したのは、私の指示通りに問題(*不十分な点)を正し、それぞれの町に長老たちを任命してもらうためです。6 任命される人は、非難されるところがなく、1 人の妻の夫でなければなりません。その人の子供も信仰を持っているべきで、堕落(*放蕩)しているとか反抗的だと非難されていてはなりません。7 監督は、神の家の管理人ですから、非難されるところがあ

ってはならず、意地を張らず、すぐに怒らず、酪酊せず、暴力を振るわず、食欲に不当な利益を得ようとすべきではありません。8人をよくもてなし、善いことを愛し、健全な考え方(*良い判断)をし、正しいことを行い、神に尽くし(*を揺るぎなく支持し/から離れず)、自制心があり、9神の信頼できる(*確かな)言葉にしっかり従った教え方をしなければ(*従って教える技術を用いなければ)なりません。そうすれば、健全な(*有益な)教えによって励ます(*説き勧める)ことも、逆らう人を戒めることもできるでしょう。に載せられている資格を満たしている必要があります。

(読む。)この記事では、長老として働く上で求められている次の3つの点について学びます。①会衆の人や会衆外の人から良い評判を得ること、②家族をしっかり世話すること、③会衆のために進んで働くことについて考えます。

良い評判を得る

4. 「とがめられるところがない」とはどういう意味ですか。

4長老として奉仕するためには、「とがめられるところがない」人でなければなりません。これは、行いの点で非難されることがなく、会衆で良い評判を得ている必要があるということです。それに加えて、「会衆外の人からも良い評判を得ている」必要があります。エホバの証人ではない人たちに、私たちが信じていることを非難されることがあったとしても、行いや正直さの点で疑いが持たれるようなことがあってはなりません。(ダニ6:4、5高官や太守たちは、国務に関することでダニエルを非難する口実を探そうとしていたが、何の口実も落ち度も見つけられなかった。ダニエルは信頼でき、怠慢や落ち度は全くなかったからである。5そのため彼らは言った。「ダニエルの神の律法のことと言い掛かりをつけない限り、彼を非難する口実は見つからないだろう」)それで、「自分は会衆の人や会衆外の人から良い評判を得ているだろうか」と考えてみるのが大切です。

5. 「善いことを愛し」ていることはどんな行動に表れますか。

5「善いことを愛し」ている人は、ほかの人の良い面を探して褒めます。また、他の人のためになることを喜んで行います。たとえ行うよう求められていないことであってもです。(テサ1:2:8私たちは優しい愛情を抱き、皆さんに神の良い知らせを伝えるだけでなく自分たち自身を与えたいと思いました。皆さんを深く愛するようになったからです。)善いことを愛することが長老たちにとって大切なのはどうしてでしょうか。長老たちは会衆の兄弟姉妹を世話したり、割り当てを果たしたりするためにたくさんの時間を使う必要があるからです。(ペテ1:5:1-3私は長老として、またキリストの苦しみ証人、やがて明らかにされる栄光を共に受ける者として、同じ長老の皆さんに勧めます。2皆さんに委ねられた神の羊の群れを世話してください。強いられてではなく、神の前で進んで監督として奉仕し(*進んで群れを注意深く見守り)、不当な利益を得ようとしてではなく、真剣な態度で世話しましょう。3神の財産である(*神から委ねられた)人たちに対して威張ったりせず、群れの模範となりましょう。)確かに大変な仕事ではありますが、他の人に仕えることから得られる喜びは、払う犠牲をはるかに上回るものです。(使徒20:35私は、このように真面目に働いて、弱い人たちを援助しなければならないこと、また、主イエス自身が述

べた『受けるより与える方が幸福である』という言葉覚えておかなければならないことを、あらゆる点で皆さんに示しました」)

6. どうすれば「人をよくもてなす」ことができますか。(ヘブライ 13:2, 16。写真も参照。)

6 「人をよくもてなす」人は、仲のいい人だけでなく、いろいろな人に親切にします。(ペテロ 4:9 不満をつぶやくことなく、もてなし合ってください。) ある参考文献には、人をよくもてなす人のことがこのように説明されています。「その人の家の扉も心の扉も、見知らぬ人に対して開かれている」。それで、「自分は会衆を訪問してきた人に親切にする人として知られているだろうか」と考えてみましょう。(ヘブライ 13:2 人をもてなす(*見知らぬ人に親切にする)ことを忘れてはなりません。そうすることによってある人たちは、知らずに天使たちをもてなしました。16 さらに、善を行うことや、持っている物を分け合うことを忘れてはなりません。神はそのような犠牲をととても喜んでくださいます。を読む。) 人をよくもてなす人は、巡回監督や訪問講演者といった、仲間のために一生懸命働く人たちや、経済的に厳しい状況にある人など、いろいろな人のためにできることを行います。(創 18:2-8 アブラハムが目を見ると、少し離れた所に3人の人が立っているのが見えた。それでその人たちを迎えるために走っていき、ひれ伏した。3 そしてこう言った。「エホバ、私がもしあなたの好意を得ていましたら、どうか、私の前を通り過ぎないでください。4 水を少し持ってきますので、皆さんの足を洗わせてください。そして木の下で休んでいってください。5 せっかく来られたのです。パンもお持ちしますので、召し上がって疲れを癒やし、旅をお続けください」。するとその人たちは言った。「分かりました。そのようにしてください」。6 アブラハムは天幕にいるサラの所に急いで行って、こう言った。「上等の麦粉3杯分(c*22 リットル)をこねて、パンを作ってくれないか。急いでほしい」。7 それからアブラハムは家畜の群れの所に走っていき、柔らかくて上質の若い牛を選んで召し使いに渡し、調理に急いで取り掛からせた。8 その後、バターとミルクと調理した肉を持ってきて3人に出した。その人たちが食べている間は、そばの木の下で立っていた。格 3:27 あなた(*あなたの手)に助ける力があるときに、善を行うべき相手(*受けるべき人)にそうせずにいてはならない。ルカ 14:13, 14 むしろ、宴会を設けるとときには、貧しい人、体が不自由な人、足が不自由な人、目が見えない人などを招きなさい。14 そうするなら幸せです。その人たちにはあなたに報いるものが何もありません。あなたは、正しい人たちが復活する時に報われます。使徒 16:15 ルデアは家の人たちと共にバプテスマを受けた時、「もし、私のことをエホバに忠実な人と思ってくださるのでしたら、私の家に泊まりに来てください」と私たちに促した。そして、どうしても来てほしいと言って、連れていった。ロマ 12:13 困っている聖なる人たちと分け合ってください。人をもてなすことに努めましょう。)



人をよくもてなすクリスチャンの夫婦は、旅行する監督と妻を温かく迎える。(6節を参照。)

7. 「お金を愛さ[ない]」とはどういう意味ですか。

7 「**お金を愛さ[ない]**」とは、**物やお金を生活の中で最優先にしない**ということです。**経済状況に関わりなく**、**エホバに仕えることを一番大切に**します。（**マタ 6:33**ですから、王国と神から見て正しいこととをいつも第一にきなさい。そうすれば、こうしたほかのもの全ても、あなたたちに与えられます。）**エホバを崇拜し、家族を世話し、会衆に仕える**ために、自分の**時間や体力や持っている物**を使います。（**マタ 6:24**誰も 2 人の主人の奴隷にはなれません。一方を憎んで他方を愛するか、一方に尽くして他方を軽く見るかです。神と富との奴隷にはなれません。**ヨハ一 2:15-17**世も、世の中のものも、愛してはなりません。世を愛する人は、天の父を愛していません。16 世の中のもの、すなわち罪深い(d*肉体の)欲望、見ることから生じる(d*目の)欲望、持ち物を見せびらかすことは皆、父からのものではなく、世から出るものだからです。17 さらに、世も、世の欲望も、過ぎ去りつつあります。一方、神の望むことを行う人は永遠に生きます。) 次のように考えてみましょう。「**自分にとってお金はどれほど大事**だろうか。**必要な物があれば、それで満足**しているだろうか。**お金に執着**したり、**欲しい物を次々に手に入れよう**としたりしているだろうか」。（**テモ一 6:6**もちろん、持っている物で満足しつつ神への専心を示すことには、大きな利益があります。**17-19**今の体制(*時代)で裕福に暮らしている人たちに、高慢にならないように、そして不確かな富にではなく神に希望を抱くように教えて(*命じて)ください。神は私たちが楽しむあらゆるものを豊かに与えてくださいます。18 またその人たちに、善いことをし、立派な行いに励み、惜しみなく与え、進んで分け合うよう伝えてください。19 そうすれば彼らは、いわば宝を蓄え、将来のための良い土台を築いて、真の命をしっかりと捉えることができるでしょう。)

8. 「節度をわきまえ」、「自制心があ[る]」ことはどんなことに表れますか。

8 「**節度をわきまえ**」、「**自制心があ[る]**」なら、**生活のあらゆる面でバランスが取れる**でしょう。これには、**食べ過ぎや飲み過ぎを避け、身だしなみや自由な時間に楽しむものについて良い選択をする**ことが含まれます。また、**世の中の流行に振り回されない**ようにする必要があります。（**ルカ 21:34**とはいえ、**食べ過ぎや飲み過ぎや生活上の心配事(*暮らしのための心配事/日常生活の心配)**で心が圧迫されないよう注意していなさい。そうでないと、その日が全く突然に訪れます。**ヤコ 4:4**不忠実な人たち(d*姦淫をした女性たち)、世との交友は神との敵対であることを知らないのですか。世の友になろうとする人は、神の敵になろうとしているのです)**いらいらさせられても穏やかでいる**ようにします。また、「**酩酊を避ける**」必要もあります。**大酒飲み**という評判が立つようであってははいけません。それで、「**自分の生活には節度をわきまえ、自制心がある**ことが**表れている**だろうか」と考えてみましょう。

9. どうすれば「健全な考え方をし」、「秩序正しく行動」できますか。

9 「**健全な考え方をし**」ている人は、**聖書の言葉**がいろいろな場面にどのように当てはまるかをじっくり考えます。そうすることで、**関係する状況をよく理解し、良い判断をすることが**できます。**すぐに結論を下そうとするのではなく、必要な情報をきちんと集める**ようにします。（**格 18:13**聞かないうちに返事をする人は、愚かであり、辱められる。）そのようにして、**エホバの考えに沿った良い決定**を下すことができます。「**秩序正しく行動**」する人は**物事をよく計画し、**

時間を守ります。指示に従う信頼できる人としても知られているはずです。この副見出しで考えてきた点を努力するなら、良い評判を得ることができるでしょう。では次に、家族をしっかりと世話するという点について考えます。

家族をしっかりと世話する

10. どうすれば「家庭を立派に治め」ることができますか。

10 夫の立場にあるなら、家族として良い評判を得ていることも大切です。そのためには、家庭を立派に治める必要があります。愛情深く責任感を持って家族を世話していることで知られているべきです。それには、崇拝の全ての面で率先することが関係しています。その大切さについてパウロはこう説明しました。「自分の家庭を治められないのであれば、神の会衆を世話することなどできるでしょうか」。(←[テモ 3:5](#))

11-12. 家族の振る舞いや行動は、長老として奉仕する資格とどんな関係がありますか。(写真も参照。)

11 父親であるなら、未成年の「子供をよくしつけて従わせているべきです」。愛情深く子供を教える必要があります。もちろん、子供たちには笑ったり遊んだりして、楽しい時間を過ごしてほしいと思います。でも、親に従うこと、ほかの人に敬意を示すこと、行儀良くすることを教える必要があります。また、エホバとの絆を強め、聖書の教えを当てはめ、バプテスマに向けて成長できるよう助けることもとても大切です。

12 「子供も信仰を持っているべきで、墮落しているとか反抗的だと非難されてはなりません」。バプテスマを受けた子供、もしくはバプテスマに向けて進歩している子供が重大な罪を犯した場合はどうなるのでしょうか。もし父親がその子を教えたり矯正を与えたりしていなかったのであれば、その人に長老として奉仕する資格があるとはいえないでしょう。(「[「ものみの塔」1996年10月15日号21ページ6-7節](#)」6「信者である子供」という表現は、すでにエホバに命をささげて献身し、バプテスマを受けた若者、もしくは献身とバプテスマを目ざして進歩している年若い子供を指します。会衆の成員は、長老の子供がまずまず行儀がよく、従順であることを期待します。長老は自分の子供の内に信仰を築き上げるよう力を尽くしていることが明らかであるべきです。ソロモン王はこう書いています。「少年をその行くべき道にしたがって育て上げよ。彼は年老いても、それから離れないであろう」。(箴言 22:6) しかし、そのような訓練を受けてきた若者がエホバに仕えようとせず、さらには重大な悪行を犯すならどうでしょうか。

7 上記の箴言が厳格な規則として述べられているのでないことは明らかです。それは自由意志の原則を無にするものではありません。(申命記 30:15, 16, 19) 息子でも娘でも、責任年齢に達したなら、献身とバプテスマに関して自分で決定しなければなりません。父親である長老が、必要とされる霊的な助けや導きや懲らしめを明らかに与えてきたのに、子供がエホバに仕える道を選ばない場合、その長老は監督として仕える資格を自動的に失うわけではありません。一方、長老の家庭に未成年の子供が幾人かいて、その子供たちが次々に霊的な面で病気になって問題を抱えるとしたら、その長老はもはや「自分の家の者をりっぱに治め……ている人」とみなされないかもしれません。(テモテ第一 3:4) 重要なのは、監督として「放とうの責めを受けたり無規律であつたりすることのない、信者である子供」を持つよう最善を尽くしていることがはっきりしていなければならないという点です。(を参照。)



父親は、エホバや会衆のためにいろいろなことを行うよう子供たちを教える。(11 節を参照。)

会衆に仕える

13. どうすれば「分別があり」、「意地を張ら[ない]」人になれますか。

13 **クリスチャンとしての人格を身に付けて**いる兄弟たちは、**会衆にとって大きな助け**になります。**「分別があ[る]」**人は**平和をつくる**ことができます。また、**ほかの人の話をよく聞いて**、その人たちの**見方を理解するように努力**します。長老になったなら、**会合に参加する機会**があります。そういう時、聖書に書かれていることに反していない限り、**大多数の人の意見を進んで支持**するでしょうか。**「意地を張ら[ない]」**ようにすることも大切です。**自分の方法にこだわる**のではなく、**他の人の意見やアイデアを大切に**しましょう。(創 13:8, 9 **アブラムはロトに言った。「聞いてください。私とあなた、また家畜の世話係同士の間に言い争いがあるのはよくありません。私たちは兄弟なのですから。9 どこでも好きな地域を選んでください。別々に暮らしましょう。あなたが左に行くのであれば、私は右に行きます。あなたが右に行くのであれば、私は左に行きます」。格 15:22 相談(*内密の話し合いを)しないと計画は失敗し、助言者が多ければ達成される。)****「争いを好」んだり「すぐに怒」ったりしない**ようにします。**人に対して厳しく**なったり**気難しい態度**を取ったりするのではなく、**穏やかで親切に接する**ようにしましょう。**平和を求め**る人になり、**緊迫した状況**の中でも**進んで平和をつくる**ようにしてください。(ヤコ 3:17, 18 **一方、天からの知恵を持つ人は、第一に清く、次いで平和を求め、分別があり、進んで従い、憐れみと良い実に満ち、差別をせず、偽善的ではありません。18 さらに、正しさの実は、平和をつくり出している人たちのために(if*によって)、平和な状態の中でまかれた種から生じます。)****親切に話す**なら、**反対者でさえ態度を和らげる**かもしれません。(裁 8:1-3 **エフライムの人たちはギデオンに言った。「一体どういうつもりだ。ミディアンと戦う時に、なぜわれわれを呼ばなかったんだ」。そしてひどく文句を言った。2 ギデオンは言った。「皆さんがしたことと比べれば私は大したことはしていません。エフライムのブドウの収穫の残りは、アビ・エゼルの収穫に勝っているではありませんか。3 神はミディアンの高官オレブとゼエブを皆さんの手に渡しました。皆さんがしたことと比べれば私は大したことはしていません」。ギデオンがこう話すと、エフライムの人たちの気持ちは治まった。格 20:3 論争を避けることは名誉となる。愚かな人は皆それに巻き込まれる; 25:15 辛抱強さによって権力者は説得され、穏やかな言葉(*温和な舌)は強い反対を克服する(d*骨を砕く)。マタ 5:23, 24**それで、あなたが供え物を祭壇に持ってきて、仲間が自分に対して何か反感を抱いていることをそこで思い出したなら、24 供え物を祭壇の前に残して、出掛けていきなさい。まず仲間と仲直りし、それから戻ってきて、供え物を捧げなさい。)

14. 「クリスチャンになって間もない人で[はない]」とはどういう意味ですか。「神に尽く」す人とはどんな人ですか。

14 長老となる人は「クリスチャンになって間もない人であってはなりません」。バプテスマを受けてから何年もたっていないといけないわけではありませんが、十分に成長したクリスチャンになるには時間が必要です。長老に任命されるためには、イエスのように謙虚な人になり、エホバから与えられるどんな割り当ても喜んで果たすことが大切です。そして、会衆でさらに責任が与えられるのを辛抱強く待ちます。（マタ 20:23 イエスは言った。「確かに、あなたたちは私の杯から飲むでしょう。しかし、私の右また左に座することは、私が決めることではありません。その場所は、そこに座る者たちのために、天にいる私の父によって用意されています」。フィリ 2:5-8 キリスト・イエスと同じ考え方をしてください。6 キリストは神のような方でしたが、神と同等になろうなどと考えることさえしませんでした。7 かえって、全てを捨てて奴隷のようになり、人間になりました。8 その上、人として来た時、謙遜さを示し(*自分を低く見て)、死に至るまで従順でした(*になりました)。苦しみの杭(*)に掛けられて死ぬことを受け入れたのです。) また、エホバとエホバの正しい基準にしっかり付き、組織を通して与えられる指示に従うなら、神に尽くしていることになります。（テモ一 4:15 これらのことについてよく考え(*黙想し)、打ち込みなさい。そうすれば、あなたの進歩は誰の目にも明らかになるでしょう。)

15. みんなの前で上手に話ができれば長老にはなれませんか。

15 聖書によると、監督には「教える資格がなければなりません」。これはみんなの前で上手に話ができればいけないということでしょうか。そうではありません。話が得意ではない兄弟もいます。でも多くの長老たちは、宣教で上手に教えたり牧羊訪問で兄弟姉妹を元気づけたりしています。（コリント第一 12:28, 29 そして神は会衆内の人たちにそれぞれの役割を与えました。第一に使徒、第二に預言者、第三に教える人、次いで奇跡を行う人、次いで癒やす能力を持つ人、人々を世話する(*役立つ仕事を行う)人、指揮する能力がある人、さまざまな言語を話す人です。29 皆が使徒ではないでしょう。皆が預言者ではないでしょう。皆が教える人ではないでしょう。皆が奇跡を行うわけではないでしょう、エフェソス 4:11 そしてその方は、ある人を使徒、ある人を預言者、ある人を福音伝道者(*良い知らせを伝える人)、ある人を牧者また教える人として与えました。と比較。) とはいえ、教える技術を磨いていくことも大切です。具体的にどんなことができるでしょうか。

16. どうすれば教える面でさらに成長できますか。（写真も参照。）

16 「神の信頼できる言葉にしっかり従う」ことは大切です。教える技術を磨くためには、みんなの前で教える時にも個人的にアドバイスする時にも、神の言葉に基づいてそうする必要があります。聖書や聖書に基づく出版物を真剣に学びましょう。（格 15:28 正しい人は答える前に心の中で思い巡らし(*どう答えるかをよく考え/話す前に考え)、悪人たちは悪いことを口走る。16:23 賢い人の心は口に洞察力を与え、話に説得力を加える。) 学ぶ時には、聖句がどのように説明されているかをよく調べ、正しく応用できるようにしましょう。教える時には、聞いている人の心に届くような仕方で話すようにしましょう。経験ある長老たちにアドバイスを求めて、その通りにやってみるなら、さらに成長できます。（テモ一 5:17 立派に監督している長老たち、とりわけ

一生懸命に話したり教えたりしている人たちは、深い(d*2倍)敬意を受けるに値します。)長老たちは兄弟姉妹を「**励ますことも.....戒めることもできる**」人でなければなりません。でも、**どんな場合**であっても**親切に接する必要**があります。**教師として立派な手本**を残した**イエスに倣**って、**優しく愛を込め**て**聖書に基づいて教える**ようにしましょう。そうするなら、**上手に教える人になれる**でしょう。(マタ 11:28-30 疲れていて(if*労苦し/悪戦苦闘し), 荷を負い切れない人は皆、私の所に来てください。そうすれば、爽やかにしてあげましょう。29 私と共に働いて、私から学んで(*私の弟子(私から学ぶ人)になって)ください。私は温和で、謙遜だからです。あなたたちは爽やかさを感じるでしょう。30 私と共に働くことは心地よく(*私のくびき(てんびん棒)は負いやすく)、私が負わせる荷は軽いのです。**テモニ 2:24** 主の奴隷は争う必要はありません。必要なのは、誰にでも穏やかに(*巧みに)接すること、教える資格があること、不当な扱いを受けても自分を抑えること、)



援助奉仕者は、**聖書を使って他の人をどのように励ませるか**を**経験ある長老から学ぶ**ことができる。集会の話の練習を鏡の前ですることもできる。(16節を参照。)

努力を続けてください

17. (ア) どんなことは、**援助奉仕者が頑張る上での助け**になりますか。(イ) 長老たちは**兄弟たちを推薦**できるか考慮する時、**どんなことを思いに留めるべき**ですか。(「**兄弟たちの推薦を考慮する時に覚えておきたいこと**」という囲みを参照。)

17 **援助奉仕者の中**には、これまで取り上げた資格について考えると、**自分は長老にはなれない**と思う人がいるかもしれません。でも、**エホバもエホバが導いている組織も完璧**であることを**求めてはいない**、ということを忘れないでください。(ペテロ 2:21 皆さんはこうした道に招かれました。キリストでさえ皆さんのために苦しみ、その歩みに皆さんがしっかり付いてくるよう**手本を示しました**。)**長老としての資格を満たせるよう**、エホバが**強力な聖なる力**によって**助けて**くれます。(フィリ 2:13 神はご自分の望みを実現させるために**皆さんを力づけて**くださいます。**行動するための意欲と力の両方を与えて**くださるのです。)**特に改善したいところ**がありますか。そのことを**エホバに祈って**ください。**努力したい点**について**調査**して、**長老にアドバイスを求め**ましょう。

兄弟たちの推薦を考慮する時に覚えておきたいこと

兄弟たちの資格に関して考慮する時、長老たちは分別を示し、「正しさにあまりにこだわ」らないように気を付けます。（[伝 7:16](#) 正しさにあまりにこだわってはならない。賢くなり過ぎてはならない。どうして自分の身を滅ぼすのか。[ロマ 12:3](#) 私は、示していただいた惜しみない親切に基づき、皆さんに言います。自分のことを必要以上に考えてはなりません。各自が神から与えられた(*分け与えられた/配分された)信仰に応じて、健全な考え方をしましょう。) 自分も完璧に資格を満たしているわけではないということを忘れないようにします。それで、ある兄弟が聖書に書かれている資格を満たしているかどうかを考慮する時には、完璧を求めないようにし、バランスの取れた判断ができるようにエホバに助けを求めて祈ります。そして推薦を行う際には、エホバの正しい基準に沿っているかや、会衆のためになるかどうかを考えます。

18. 全ての援助奉仕者はどんなことができますか。

18 長老たちを含め、兄弟たち全てはこの記事で考えてきた点に取り組む必要があります。（[フィリ 3:16](#) いずれにしても、私たちはこれまで進歩してきたのですから、この同じ道をきちんと歩んでいきましょう。）援助奉仕者の兄弟たち、努力を続けてください！エホバに助けてもらい、エホバや会衆に仕える面でもっと多くのことができるように成長していきましょう。（[イザ 64:8](#) しかし、エホバ、あなたは私たちの父です。私たちは粘土で、あなたは陶芸家(*私たちを形作った方)です。私たちは皆、あなたの手で造られたのです。) 長老として奉仕することを目指して努力するあなたにエホバが豊かに報いてくださいますように。

次の聖句からどんなことを学べますか

1. [テモテ第一 3:1-7](#) (次の言葉は真実です。監督になろうと努めている人は、立派な仕事を望んでいます。2 ですから、監督は、とがめられるところがなく、1 人の妻の夫で、節度をわきまえ、健全な考え方(*良い判断)をし、秩序正しく行動し、人をよくもてなし、教える資格がなければなりません。3 また、酩酊せず、暴力を振るわず、分別があり、争いを好まず、お金を愛さず、4 家庭を立派に治め(*管理し)、子供をよくしつけて従わせているべきです。5 (自分の家庭を治められないのであれば、神の会衆(*))を世話することなどできるでしょうか。) 6 クリスマンになって間もない人であってはなりません。思い上がって、悪魔と同じように断罪されるようなことにならないためです。7 さらに、会衆外の人からも良い評判を得ているべきです。人々から非難され、悪魔のわなに陥る、ということがないようにするためです。)

・S03 長老になるためには、伝道や教えるスキルを持っているだけでは不十分で、[テモテ第一 3 章 1-7 節](#)に載せられている資格を満たしている必要がある。長老として働く上で求められている特に 3 つの点、「①会衆の人や会衆外の人から良い評判を得ること、②家族をしっかり世話すること、③会衆のために進んで働くこと」について学べる。

2. [テトス 1:5-9](#) (私があなたをクレタに残したのは、私の指示通りに問題(*不十分な点)を正し、それぞれの町に長老たちを任命してもらうためです。6 任命される人は、非難されるところがなく、1 人の妻の夫でなければならま

せん。その人の子供も信仰を持っているべきで、堕落(*放蕩)しているとか反抗的だと非難されていてはなりません。7 監督は、神の家の管理人ですから、非難されるところがあつてはならず、意地を張らず、すぐに怒らず、酪酊せず、暴力を振るわず、食欲に不当な利益を得ようとすべきではありません。8 人をよくもてなし、善いことを愛し、健全な考え方(*良い判断)をし、正しいことを行い、神に尽くし(*を揺るぎなく支持し/から離れず)、自制心があり、9 神の信頼できる(*確かな)言葉にしっかり従った教え方をしなければ(*従って教える技術を用いなければ)なりません。そうすれば、健全な(*有益な)教えによって励ます(*説き勧める)ことも、逆らう人を戒めることもできるでしょう。)

・S03 テトス 1 章 5-9 節に載せられている資格も満たしているか考慮する必要がある。ここでも 3 つの点、「①会衆の人や会衆外の人から良い評判を得ること、②家族をしっかり世話すること、③会衆のために進んで働くこと」について学べる。

3. [ヘブライ 13:2, 16](#) (2 人をもてなす(*見知らぬ人に親切にする)ことを忘れてはなりません。そうすることによってある人たちは、知らずに天使たちをもてなしました。16 さらに、善を行うことや、持っている物を分け合うことを忘れてはなりません。神はそのような犠牲をととても喜んでくださいます。)

・S06 仲のいい人だけでなく、いろいろな人に親切にする。巡回監督や訪問講演者といった仲間のために一生懸命働く人たちや、経済的に厳しい状況にある人など、いろいろな人のためにできることを行って、自分は人をもてなす人として知られているだろうかと考えることができる。

[101 番の歌](#) 一致して共に働く

^ [\(テモー 3:1\)](#) 次の言葉は真実です。監督になろうと努めている人は、立派な仕事を望んでいます。

^ (テモー 3:1) 次の言葉は真実です。監督になろうと努めている人は、立派な仕事を望んでいます。

^ (エフェ 4:8) こう述べられています。「その方は高い所に昇った時、捕虜を連れ去り、人々という贈り物を与えました」。

^ [\(テモー 3:1-7\)](#) 次の言葉は真実です。監督になろうと努めている人は、立派な仕事を望んでいます。2 ですから、監督は、とがめられるところがなく、1 人の妻の夫で、節度をわきまえ、健全な考え方*をし、秩序正しく行動し、人をよくもてなし、教える資格がなければなりません。3 また、酪酊せず、暴力を振るわず、分別があり、争いを好まず、お金を愛さず、4 家庭を立派に治め*、子供をよくしつけて従わせているべきです。5 (自分の家庭を治められないのであれば、神の会衆*を世話することなどできるでしょうか。) 6 クリスマンになって間もない人であつてはなりません。思い上がって、悪魔と同じように断罪されるようなことにならないためです。7 さらに、会衆外の人からも良い評判を得ているべきです。人々から非難され、悪魔のわなに陥る、ということがないようにするためです。